

特集 BOOK紹介

『透析を止めた日』

堀川恵子著 (講談社刊)

透析患者だった夫の死を克明にドキュメント
患者は安らかな死を迎えられない事実
その実態にフォーカス

愛飲者の声

胃・腸の健康と活性酸素

日本
SOD
研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協カ・株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

今回のBOOK紹介は、糖尿病のご主人を看取った堀川恵子さんのノンフィクションのお話です。この本は、単にご主人を看取ったドキュメントとして通り過ぎてはいけない一冊だと思い、ここに紹介させていただきます。

タイトルに、『透析を止めた日』とありますが、当事者でない限り私たちは人工透析のことをほとんど知りません。実際、私もこの本を読むまでは、人工

透析とは腎機能が良くない人が腎機能の代りをしてくれるもので、その作業は、専門の病院の透析機器で3、4時間、血液を濾過循環させるもの。といった程度の認識でした。確かに週に2、3回病院に行く必要があり、3、4時間の時間拘束があることは面倒ですが、行けばベッド

で寝ているだけだと思っていました。長期の旅行にいけないとか、災害などのときに対処できない恐怖はあり、できれば人工透析にならないように糖尿病などに気をつけたい、そう思っていました。

堀川氏は前書きでこう書いています。

「現在日本では約35万人が透析を受けている。人口比では台湾、韓国に次いで世界3位。紛れもない透析大国である。透析のおかげで多くの腎不全患者が命を長らえることができるようになった。透析がなければ夫も私と出会う遙か前に亡くなっていただろう。だから私は透析という医療に感謝している。が、家族の立場から、透析がいかに厳しい治療かという現実も知った。壊れた腎臓は再生しない。

腎臓移植をしない限り、透析は一生続く。透析を止めてしまえば数日か数週間で死に至る。これが恐怖でなくてなんであろう。」

人工透析というのは、腎臓の機能が低下または停止した場合に体内の老廃物や余分な水分を取り除くための医療的手段です。腎臓が正常に働いていれば、体内の不純物などを尿として排出できますが、腎機能が低下するとこのプロセスができなくなります。そのために人工的に老

廃物を除去するのが透析で、血液を体外に取り出し、老廃物を除去した血液を戻すという工程を行います。これが血液透析というもので、最近では腹膜透析という方法で自宅でも行える治療法ができたといいますが、まだ普及率はわずか3%といえます。

みなさんは透析ビジネスということばを聞いたことがありますか？以前に、透析は病院にとつて定額貯金と同じといった医師がいました。一旦透析を始

とします。現在、透析の医療費の総額は1兆6000億円、日本のすべての医療費の約4%も占めています。つまり人工透析という巨大な医療ビジネス市場が形成されているのです。堀川氏もいいます。

「透析ビジネスには病院だけでなく、医療機器メーカー、製薬会社、そして透析施設に融資を行う銀行にまで莫大な利益をもたらす、透析患者が10人いれば、数年でビルが建つ、とまで揶揄されてきた」

しかし問題はそれのことだけではないのです。この本で著者がいちばん訴えたかったことは「透析医療の、入り口は間口が広い。透析を決断さえすればそこからは透析に必要なシャント手術を経て透析導入へと、動く歩道で運ばれるがごとく進んで

いく。都市部には電車が止まる駅ごとに透析クリニックの看板が目に入り、どこでも歓迎してくれる。日本の透析医療の水準は高く、清潔で安全に治療を受けることができる。患者には手厚い医療制度が用意され、福祉制度の面でも優遇されている。その一方で、ビジネス市場から外れる、透析を止める、という選択肢の先にはまともな出口が用意されていない」

まともな出口というのは、患者を死に向かって軟着陸させる体制がないということ。つまり意識を失っても寝たきりになっても、認知症になっても透析を延々と続けさせてくれる特殊な病院に永遠に入院が、透析を中止するしか術がないのです。中止すれば当然、数週間で死が訪れる。透析中止によって生ずる



『透析を止めた日』堀川恵子著
(講談社刊)

症状は、体内の水分を除去できないことによって、溺れるような筆舌に尽くしがたい酷い苦しみを伴うといえます。

しかも、日本の緩和ケアの対象は保険診療上がん患者と重症心不全の患者、ALSの患者に限定されているので緩和ケアも受けられないのです。それだけでなく、ほとんどの透析クリニックでは、末期になった患者さんは受け入れないだけでなく、医師に麻酔に関する知識や経験がほとんどないそうです。苦しもうが何しようが、何も対処できないとか。透析患者の末路がそんないばらの道になっていたとは驚きでした。

4時間の透析は

フルマラソン1回分の

体力消耗

水は1日500mlまで

本書は、第一章が堀川さんにご主人の林新さん^{はしあた}の物語です。この本が単なる医療ドキュメントでないと思えたのは、この二人の仕事上のやり取りや、尊敬、思いやりの温かさがあるからです。ご主人はNHKのドキュメント番組のプロデューサー。堀川さんも広島テレビ局をやめフリーのディレクターとして活動していました。広島時代に何度か賞を受賞している彼女が授賞式に行くとたびに1番は林さんの番組で、彼女はいつも2番だったそうです。当時は西の堀川、東の林といわれていたとか。その堀川さんがフリーに

なつて最初に上げた企画書の窓口に林さんでした。『ヒロシマ戦禍の恋文』女優森下彰子の被ばく」この作品でぶつかり合いながら仕事をしていく中で、ディレクターとして心酔したといいます。その後も、何度も仕事を作る中、林さんには社会で弱い立場に置かれている人たちへまなざし、亡き人を静に悼む真摯な気持ちがあつたそうです。「自ら傷ついてこそ、他者の痛みをリアルに想像できる。真に大切なことを見極めようとする。林の思考が透析という闘病生活と無関係であるはずがないと思った。この尊敬すべきプロデューサーと病とはセットだったのだ」

そうして共に過ごすことを決意したとき、彼女が知らされたのは透析治療の過酷さでした。

まず、彼の左腕内側肘から手首にかけて直径2、3センチのこぶが山脈のように連なっていたのには驚いたといいます。これはシャントといって、静脈と動脈を手術でつないだ人口の血管で、シャントの2ヶ所に太い針を刺して、一方から血を外に取り出し老廃物を除去し、除去された新しい血をもう一方の針から戻す。その針も、畳み針くらの太い針をぐさりと奥まで刺す。この針が痛くて透析を辞めたいという人も多いと聞く。

「透析中はただベッドに寝ているだけだから楽だろうと思ったら、まったく違った。身体の中では大変なことが起こっている。短時間の間にすべての血液を出して戻す作業がどれだけ心臓や血管に負担をかけるか。4時間の透析はフルマラソンを走

るくらいの負担があるといわれるのわかる。透析が長期に及ぶと心臓が苦しくなったり、手足の末端などに痛みが出たりする。さらにシャントが抜けないように寝返りはもちろん、ほとんど身動きできない状態で4時間进行と我慢する」

さらに透析患者は水分コントロールの必要があり、1日

500mlの水分しかとてはいけないのです。夏場ならその場で飲み干してしまふペットボトル1本分。それが1日です。もちろん味噌汁やスープだって水分。そして塩分も1日6g以内と決められています。6gというと、かけそばが4.0g、てりやきバーガーが4.2gです。から、これに味噌汁やスープを飲んだらほぼ1日の塩分量に達してしまいます。

また、透析は清潔な医療機器を使ってはいますが、血液を一旦外に出して入れるのですから、感染症のリスクが高い。老廃物を取り除くときに免疫機能を保つグロブリンなどのたんぱく質も一緒に除去してしまうので免疫力が低下しがち。ちょっとした風邪から肺炎になることもあるそうです。

第一章の終盤は、壮絶な闘病生活になるのですが、そこは是非みなさんで読み進んでいただきたいです。やるせなさもありつつ、感動に包まれます。



透析患者は みんな苦しんでいる 最後に一番の苦しみを 味わせたくない

第二章は、ご主人が亡くなったから透析に関する学会や展示会、論文のドクターのもとを奔走しています。ご主人の苦しみを間近で接してきた彼女が聞いた医師たちの言葉。しかしどこを探しても透析患者の終末に関する書籍や論文は見当たらなかったといえます。そんななか、日本透析医療学会誌に「透析患者の死亡時の状況についての検討」という1文を見つけた。執筆者は富山黒部市民病院の吉本敬一医師。彼女はさっそく取材に行きました。腎臓内科医の吉本医師は、透析患者の終末期に注目してもらったため、

様々なデータを取り、透析の導入から終末期まで一貫して患者を診ているそうです。

「透析患者さんのなかにはわがままな人もいます。でもね、みんなもう、十分苦しんでいるのです。生活上の制約があつて、何年も、何十年もたくさんのことを我慢しながら生きている。透析に来る、それだけで頑張っているんです。それなのに人生の最後まで、亡くなるギリギリまで透析に苦しみながら死んでいかないけないなんて辛いです」

しかし残念なことにこの論文は大した反響はなかったといえます。

「一般に『薬』『新薬』が絡む案件は製薬会社の後押しがあつて専門家向けのプロモーションや講演も多くなり、議論も報道も研究も盛んになる。しかし終末医

療の透析患者の看取りは、薬との関係が乏しい。乱暴に表現すれば儲からない。新薬とつながらないことが議論が活発にならない理由のひとつでしょう。

一人一人の患者さんが生まれてから死んでいくという人生の中で死因ではなく死にざまも同じくらい大事だろうと思うんです。透析を止めるという患者さんは、もう、よほど苦しい状態になっています。だから終末期の苦痛をせめて少しでも何とかしてあげたい。そのためには透析医も今後、麻薬鎮静剤の勉強をして、スタンダードに使えるようにしていかないといけないです」

著者の堀川恵子さんは前書きの最後にこう記しています。

「これから透析をする可能性のある人、すでに透析を受けてい

る人、腎臓移植をした人、透析を終える時期が見えてきた人、その家族や関係者に、一つの事例として参考にしてもらえたらと願う」

透析医療により腎不全で苦しむ多くの人々が生命を維持し、長く生きることができている事実もあります。一人一人が「どのように生きたいか」を考え、最適な治療を選択できるようにすることが大切だと考えさせられる、読み物として素晴らしい一冊です。



特集

胃・腸の健康と活性酸素

最近では腸内環境を整えることが健康への第一歩といった話もよく耳にするようになりました。巷にはありとあらゆる乳酸菌食品があふれ、納豆やヨーグルトの売り上げはうなぎ上りだといえます。と同時に、丹羽メディカルさんへの相談も胃・腸のことが多いと聞きます。

「主人は、胃腸が弱いことに長年悩まされておりました。しかし主人は弱音を吐かない性格で、私もさほど気にせず過ごしていました。ところがここ数年、食事のたびにお腹が痛くなっていたようです。胃腸薬を飲んでも下痢をしたりして、薬の効果も現れず、さすがに辛そうでした。そこで丹羽先生のSODを飲んでみたら？と勧めてみました。頑固な性格ですから始めはまったく信用してくれず、いただいた資料と私の説明で嫌々でしたがなんとか2包を口にして

●長年の腹痛と下痢

(静岡県 61歳 女性)

くれました。そうしましたら数時間後、主人が「あのSODっていうのなんかお腹の調子がいみたいだ」とうれしい言葉を言ってくれたのでホッとしました。今まで何をしても治らなかった痛みが改善されて驚きます。主人も笑顔が増えました」

●胃壁に穴が開く寸前

(福島県 81歳 男性)

「妻が胃の調子が悪く、胸やけやもたれがありました。レントゲンと胃カメラを撮ったところ胃壁にくぼみがあり、かなり荒れていて、穴が開く寸前でした。そこで5か月間、1日9包のSODマイルドを飲み続けたところ、次の胃カメラ検査で、穴がすっかりなくなっていました。担当医も大変驚いていましたし、私もSODの絶大な

効果に驚きと喜びいっぱいです。以来、体調の悪いときは多めに飲んで助かっております。感謝です」

●大腸ポリープ癌化予防

(岩手県 54歳 女性)

「これまでいろいろな健康食品を飲んできましたが、SODと黒胡麻は本当に素晴らしい食品です。美容師の私は健康でなければ仕事は続けることはできません。SODは5年前から続けて飲んでいます。2018年に子宮と卵巣一つを摘出。更年度の予防と大腸ポリープの癌化が心配で飲み始めました。2021年の検査で大腸ポリープが消えました。蛋白尿で腎臓の検査も引つかかっていましたが改善しました。SODを飲んでいると身体が軽くすっきりし

ます。こんなに効果がちゃんと現れる健康食品はほかにはありません」

●カルチノイド腫瘍

(青森県 65歳 男性)

「2013年11月に大腸ポリープが4カ所と、限りなく大腸がんに近いカルチノイド腫瘍が1ヶ所みつきり、内視鏡手術を受けました。その後、SODを1日4包ずつ飲み、1年後の12月に内視鏡で診たところ、何もなくてきれいになっておりました。担当医はびっくりしていましたが、丹羽先生ありがとうございました」

●潰瘍性大腸炎

(東京都 57歳 女性)

「私は1年前からSODを飲んで

ろから胃腸が弱く、働き出してからストレスで何度も過敏性腸症候群に悩まされていました。今年(2021年)3月にまた

体調が悪くなり、薬を服用しましたがまったく効きませんでした。内視鏡検査をしたところ、難病指定の潰瘍性大腸炎だと判明。ステロイド剤が処方され、一時は良くなったのですがすぐにぶり返しました。一か月も仕事に行くことができなくなりました。SODを勧めてもなかなか信用しなくて、ようやく半信半疑で2、3包飲んでくれました。数日後、状態がどんどん良くなり、倦怠感、微熱、腹痛、下痢が治まりました。びっくりです。6月からは少しずつ仕事にも復帰することができました。これからもSODは飲み続けていく予定です」

『男女共に大腸がん増加中』

厚生労働省の発表する「令和5年(2023)人口動態統計(確定数)の概況」によると、日本人の死亡原因の第1位はがん(悪性新生物)となっています。日本人の場合どのような人が多いいのでしょうか?また、男性と女性ではどうなのか、図1をご覧ください。

近年増えているのが大腸がんです。特に女性で1位というのは驚きです。女性では乳がんや子宮に関わるがんが多いと思われがちですが、意外にも大腸がんでした。男性でも2位ですから要注意です。

丹羽先生のアドバイスでは

「日本人の胃・腸の悪化の原因は、食生活の変化がいちばん。欧米人に比べて腸が長い日本人

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸10位

図1) がん情報サービスHPより2023年度がん死亡数の順位

に肉乳製品は合わない。それに加えて不規則な生活や、ストレ

スの増加で体内の活性酸素の生成を増加させている。活性酸素は、消化器系の細胞にもダメージを与え、炎症を引き起こす。これが、胃腸のトラブルを悪化させる要因となるのです。これにより、腸内環境が悪化し、腸内フローラのバランスが崩れる。腸内フローラの乱れは、消化不良や便秘、下痢などの症状を引き起こす原因となります。炎症がおこっている患部には、活性酸素、過酸化脂質が大量発生し、さらに正常な組織を破壊し、拡大・悪化させます。症状が出ている場合は、活性酸素を除去する方法つまりはSOD酵素を体内に補って活性酸素を除去、そしてSODに含まれる自然由来の食物繊維を摂り、自らの腸内の乱れを改善していくしかないわけです」

本紙の利用に関するお願い

日本SOD研究会報は、株式会社丹羽メディカル研究所のみ利用許諾をしております。当研究会の許可なく、文章、画像の一部および全てについて、販促物利用、転載、複製、複写、転用、編集、ブログへの引用などの二次利用を固く禁じます。丹羽メディカル研究所が許可した場合はこの限りではありません。

SOD様作用食品体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-15-2 B棟 2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は生前、土佐丹羽クリニックの院長として日々、医療の現場で、がん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたられていました。また、SODなどを始めとする論文は高い評価を得て、日本のみならず海外の学会で講演したり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送られました。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

◆現在、丹羽療法の診察は皮膚科のみとなります。ご希望の方はご予約いたします。（※自由診療）
※診療日等に関しましては、状況により変更、休診となることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所 ☎ 0120(731)175